

Lev

Chapter 12

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל-מֹשֶׁה לֵאמֹר: 1
主はまたモーセに言われた、
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל-בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר אִשָּׁה כִּי תִזְרֹעַ וַיֵּלֶד זָכָר 2
イスラエルの子らに [に] 告げよ
H1696 H0413 H3478 H0559 H0802 H2232 H3205 H2145

וְשִׁמְאָהּ שִׁבְעַת יָמִים כִּימֵי נֶדֶת דְּוִתָּהּ תִּשְׂמָא: 3
彼女は-汚れる 七日 日間 期間-のように 月のもの その-病の 彼女は-汚れる
H7651 H3117 H5079 H1738

「イスラエルの人々に言いなさい、『女がもし身ごもって男の子を産めば、七日のあいだ汚れる。すなわち、月のさわりの日かすほど汚れるであろう。』

וּבְיוֹם הַשְּׁמִינִי יַבְיֹם וּבְיוֹם הַשְּׁמִינִי יַבְיֹם 3
そして-八日目に その-八番目の 割礼を-施す 肉に 包皮の
H3117 H8066 H1320 H6190

八日目にはその子の前の皮に割礼を施さなければならない。

וּשְׁלֹשִׁים יוֹם וּשְׁלֹשֶׁת יָמִים תִּשְׁבּוּ תְּשֻׁבָהּ בְּדָמֶיהָ בְּכֹל-קֹדֶשׁ 4
そして-三十日 と-三日 日間 彼女は-留まる 血の中に 清めの すべての 聖なるものに
H7970 H3117 H7969 H3117 H3427 H1818 H2893 H3605 H6944

לֹא-תִגַּע תִּנְעַם וְאֶל-הַמִּקְדָּשׁ לֹא תָבֹא עַד-מִלֵּאת יָמִי 5
[否定] 触れてはならない 聖所に [否定] 満ちるまで 日が
H3808 H4720 H0413 H5060 H0935 H5704 H4390 H3117

טְהַרְהָ: 6
彼女の-清めの
H2893

その女はなお、血の清めに三十三日を経なければならない。その清めの日の満ちるまでは、聖なる物に触れてはならない。また聖なる所にはいってはならない。

וְאִם-יָלְדָה בְּנִי וְאִם-יָלְדָה בָּתָר וְאִם-יָלְדָה בָּתָר 5
しかし-もし 女の子を 産んだなら 産んだなら 産んだなら
H5347 H3205 H7620 H5079 H8346 H3117

וְשִׁבְעַת יָמִים תִּשְׁבּוּ עַל-דָּמֶיהָ טְהַרְהָ: 6
七日 日間 彼女は-留まる [の上に] 血の 清めの
H8337 H3117 H3427 H1818 H2893

もし女の子を産めば、二週間、月のさわりと同じように汚れる。その女はなお、血の清めに六十六日を経なければならない。

תָּבִיאַ 6
 彼女は-持って来る H0935
 לְבַת 娘-のため H1323
 אִו あるいは
 לְבִן 息子-のため
 טָהֲרָה 彼女の-清めの H2893
 יָמִי 日が H3117
 וּבְמָלְאֵת そして-満ちたとき H4390

תָּר 山鳩を H8449
 אִו あるいは
 יוֹנָה 鳩の H3123
 וּבֶן- そして-子の
 לְעֹלָה 全焼の-献げ物として
 שְׁנָתוֹ その-年の H8141
 בֶּן- 一歳の
 כֶּבֶשׂ 小羊を H3532

הַכֹּהֵן: 祭司の-もとへ H3548
 אֶל- [へ]
 מוֹעֵד 天幕の H4150
 אֶהְיֶה- 会見の H0168
 פֶּתַח 入り口に H6607
 אֶל- [へ]
 לַחֲטָאֵת 罪の-献げ物として H0413

男の子または女の子についての清めの日が満ちるとき、女は燔祭のために一歳の小羊、罪祭のために家ばとのひな、あるいは山ばとを、会見の幕屋の入口の、祭司のもとに、携えてこなければならない。

וְטָהְרָה! 7
 そして-彼女は-清くなる H2891
 עָלֶיהָ 彼女の-ために
 וְכִפְּרָה そして-贖いをする
 יְהוָה 主の H3068
 לְפָנַי 主の-前に H6440
 וְהִקְרִיבוּ そして-それを-ささげる H7126

אִו あるいは
 לְבָר 男の子-について H2145
 הַיְלֵדָה 産んだ-女の H3205
 תּוֹרַת 律法である H8451
 זֹאת これが H2063
 דְּמֵיהָ 彼女の-血の H1818
 מִמְקָרָהּ その-源から H4726

לְיַקְרָהּ:
 女の子-について
 H5347

祭司はこれを主の前にささげて、その女のために、あがないをしなければならない。こうして女はその出血の汚れが清まるであろう。これは男の子または女の子を産んだ女のためのおきてである。

תְּרִים 山鳩を H8449
 שְׁתֵּי- 二羽の H8147
 וְלָקְחָהּ 彼女は-取る H3947
 שֶׁהָ 小羊を H7716
 דַּי 十分な H1767
 יָדָהּ 彼女の-手が H3027
 תִּמְצָא 手が-届かないなら H4672
 לֹא [否定] H3808
 וְאִם- しかし-もし

לַחֲטָאֵת 罪の-献げ物として
 וְאַחַד そして-一羽を H0259
 לְעֹלָה 全焼の-献げ物として
 אֶחָד 一羽を H0259
 יוֹנָה 鳩を H3123
 בְּנֵי 子の
 שְׁנֵי 二羽の H8147
 אִו あるいは

פ [区切り]
 וְטָהְרָה: そして-彼女は-清くなる H2891
 הַכֹּהֵן 祭司が H3548
 עָלֶיהָ 彼女の-ために
 וְכִפְּרָה そして-贖いをする

もしその女が小羊に手の届かないときは、山ばと二羽か、家ばとのひな二羽かを取って、一つを燔祭、一つを罪祭とし、祭司はその女のために、あがないをしなければならない。こうして女は清まるであろう』」。